



羅臼町議会だより



しれとこ

第3回定例議会	2
一般質問	4
ズームアップ	7

平成23年
第131号
 10月25日



シマフクロウ
 (有知床ネイチャークルーズ提供)

一般会計

2,165万円追加
総額 38億8,879万円

平成23年度 羅臼町一般会計補正予算

その他一般行政に要する経費	838万円
自治会に要する経費	315万円
その他町有財産に要する経費	12万円
地域振興に要する経費	42万円
税務一般事務に要する経費	217万円
葬斎場・霊園管理運営に要する経費	40万円
野生鳥獣保護管理に要する経費	500万円
地域活動推進事業・健康づくり推進事業に要する経費	201万円

国保会計

2,164万円追加
総額 11億5,687万円

平成23年度 羅臼町国民健康保険事業特別会計補正予算

その他国保一般事務に要する経費	2,000万円
返還金	164万円

介護保険
会計

415万円追加
総額 3億4,715万円

平成23年度 羅臼町介護保険事業特別会計補正予算

介護保険業務に要する経費	358万円
国庫負担金等返還金	57万円

診療所
会計

7,623万円追加
総額 11億4,094万円

平成23年度 羅臼町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算

医師住宅新築事業に要する経費	7,623万円
※各項目において端数処理をしているため合計と内訳が一致しないことがあります。	

専決処分

深層水利活用に要する経費（手数料） ～「知床らうす深層水」商標登録更新料～	34万円
------------------------------------------	------

平成23年
**第3回
 定例議会**

九月十五日、第三回定例議会が開かれた。一般質問三名、専決処分、一般会計等の補正予算、健全化判断比率、資金不足比率の報告、条例制定、人事案件、決算特別委員会の設置、意見書など、すべて原案通り可決した。

〈平成22年度決算に基づく資金不足比率〉

(単位：%)

特別会計の名称	資金不足比率	備考
水道事業会計	—	
経営健全化基準	20.0	

〈平成22年度決算に基づく健全化判断比率の報告〉

(単位：%)

区分	実質赤字率	連結実質赤字比率	実質公債費率	将来負担率
平成22年度決算	—	—	12.9	83.8
早期健全化基準	15.0	20.0	25.0	350.0
財政再生基準	20.0	35.0	35.0	

条例改正

- ・ 羅臼町町税条例の一部を改正する条例制定
- ・ 羅臼町健康保険診療所設置条例の一部を改正する条例制定
- ・ 羅臼町国民健康保険診療所基金の設置管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例制定
- ・ 羅臼町議会委員会条例の一部を改正する条例制定

意見書

- 釧路・根室地域における看護専門学校の開校等に関する意見書
- 国民健康保険に対する国庫負担の増額を求める意見書
- 森林・林業・木材産業施策の積極的な展開に関する意見書
- 東日本大震災からの復興・復興及び地域経済の活性化を求める意見書

指定管理者

- 一、指定管理者の管理を行わせる公の施設の名称及び所在地
 - (1) 名称
羅臼町国民健康保険診療所
 - (2) 所在地
目梨郡羅臼町栄町一〇〇番地八十三
- 二、指定管理者
 - (1) 名称
社会医療法人 孝仁会

- (2) 代表者
理事長 齋藤孝次
- (3) 所在地
釧路市芦野一丁目二十七番一号
- 三、指定の期間
平成二十四年四月一日から平成二十九年三月三十一日まで

人事案件

◆ 羅臼町教育委員会の委員の任命について



萬屋 志都子 氏

(任期 平成二十三年十月一日から平成二十七年九月三十日まで)

付託案件

平成二十二年度羅臼町各会計決算認定

◆ 羅臼町各会計決算特別委員会

- 委員 高村 和史
- 委員 佐藤 晶
- 副委員長 鹿又 政義
- 委員 田中 良



質 問

3議員による7件の質問
が提出され、町長の考え
を問いました。

羅臼の基盤産業 水産業について

高村 和史 議員

①ロシアアトロール船の操業の問題は、二十年近くに亘り、当町においては大変深刻な問題であり、政府間協議、民間協定がこの間続けられて来ているが、大変厳しい現実がある。もう一方の考え方として、知床世界自然遺産の中にスケソウの産卵場所があり、遺産の貴重な生態系を維持する中で、対ロシアや世界に向け発信する事が必要である。

②ロシア連邦アトロール船操業について、オール羅臼で要望書を政府及び関係機関に提出されたが、町民の期待も大きく、回答内容について!!

③アトロール船問題は、ロシア政府の協力は絶対に必要であり、また一方、世界自然遺産を守る立場の町として、世界的な保護の権威を誇る、ユネスコ等の働き掛

けも必要と考えるが、以上三件町長の考え方を、お示し下さい。

町 長

アトロール船、漁具被害、安全操業については、これからも強く要望して行く

①これまで、環境省、外務省主催で、「オホーツク生態系保全日露協力シンポジウム」、「日露隣接地域生態系保全ワークショップ」を開催し、研究者間の情報交換が検討されている世界自然遺産の海洋生態系の持続可能な利用の観点から、環境省、外務省に願います。

②昭和六十三年から、ロシアアトロール船の動向と、当町のスケソウ漁獲量の変遷及び、安全操業における漁網、漁具被害の状況を説明し、政府関係者の方々に理解をいただき、資源保護及び漁具被害についても今後ロシア政府に申し入れる

との回答を頂いた。「今後漁具被害防止と漁業資源保護のため実効的な措置を講ずるよう求めていく」とする政府答弁書が九月六日に閣議決定されている。



ロシアアトロール船

③二〇〇八年ユネスコ世界遺産委員会の諮問機関である「IUCN」の現地調査において「スケソウダラの持続可能でない漁獲について長期的な解決策を見つけると共に、科学的な情報の定期的な交換のため、ロシアとの協力を継続する事」と勧告されている。

指定管理者制度導入に伴う、新診療所体制について

高村 和史 議員

①町として、指定管理者制度のメリットは何か。

②「羅臼町国保診療所運営協議会」運営委員等の構成メンバーはどの様に考えているのか。

③新たに開所予定である診療所の連携や、町として診療所の適切な指導が必要であり、その上で町職員の常駐派遣も検討すべきと考えらる。

④指定管理者制度に伴う現看護師を含め町職員の処遇について、以上四件についての考え方を、お示し下さい。

町 長

住民サービスの向上、経費の削減を図る事を目的としている

平成23年9月定例議会



一般質問と答弁は要約されています

議会だよりでは、質問、答弁の内容を要約して載せています。質問、答弁の全文について詳しくお知りになりたい方は、町役場総務課までお問い合わせ下さい。

① 公の施設の管理、運営において民間事業者等のノウハウを活用し、住民の健康作りの取組の促進が考えられている。
② 他の市町村の事例など参考としながら現在検討中である。

③ 町と密接な連携が図れる体制整備をしていく。
④ 分限免職の対応はとらなない。本人の意思を尊重した対応を進めていく。

災害・津波対策の具体化を図り、安全・安心の町づくりを

坂本 志郎 議員

根室沖「五〇〇年間隔地震」の発生確率は今後三十年以内に、四十％～五十％と極めて高い予測がされています。

内陸でも羅臼町から標津町中標津町の知床半島基部に分布する標津断層帯で最大震度七の地震が発生し、

木造住宅約二千棟が全壊、約二千人の死傷者が出ると予測されています。それでは羅臼町ではどのような災害発生危険があるのか、地域として地域防災計画を見直し練りあげる必要があります。

この予測される災害に対し危険を回避し、被害を最小限に抑え、犠牲者を出さないための防災事業として何が必要か、具体的には一日も早い津波ハザードマップの完成と津波対応の津波

注意看板（標高表示）の設置、福祉避難所を含む避難施設の機能強化、山への避難路確保と階段設置、水や食糧、毛布の備蓄などは初歩的の事業です。学校施設を災害時避難場所として、貯水槽や備蓄倉庫、トイレや自家発電装置の整備も必要です。

三・一一東日本大震災を目の当たりにして国民・住民は被災地に思いを馳せ、その復興を願うとともに、自分たちの地域であるよう

な大地震や津波は起きないのか、防災や避難は大丈夫だろうかと不安を強めています。行政の責任として災害、津波対策をしっかりと進めることが今、求められています。

町長 地域防災計画の見直しに併せて災害対策整備を行う

災害時行政は、役場を中心に関係機関と連携を図りながら災害の発生からできるだけ早く、応急対策活動を行ないますが、災害時の対応には限界がありますので、普段から地域で連携し

「自助」「共助」の充実を図っておくことが重要です。ハザードマップ作成は町民の意見を反映させながら来年三月中に完成し、全戸配布をします。又、町内会や職場での防災訓練での活用を考えています。

災害備蓄品は、毛布、

カーペット、寝袋、日用品セット、ストープ、給水パックなど整備をしていますが、不十分な状況にあるので、今後三年～五年を目標に食料品も含め計画的に整備していきます。



羅臼町地域防災計画

備蓄品は各福祉館や町内会館、体育館等に保管していますが、大津波を想定し幌萌キャンプ場、高台の施設、学校施設を備蓄品の拠点施設にすることも検討しています。

坂本議員のその他の質問

・ 羅臼町人口減対策について
・ 電子自治体化について

知床の自然をどのように守るのか

高島 讓二 議員

「知床」が世界自然遺産に登録され六年が経過し、それを記念してユネスコ前事務局長、松浦晃一郎氏が世界の文化、自然を保護していく「苦労話等、羅臼高校にて中高生を対象に講演をされました。

その中で中高生との質疑応答があり「知床の良さを伝える上で大事な事は何んですか」との質問に「希少な動植物を保存するためにどのような努力をしているかを伝える事」とお答えになった。

この問答は大変重要な意味があると思います。振り返って我が町の「知床」の自然を守るための施策についてお聞きします。

羅臼町第六期総合計画には世界自然遺産の自然環境保全が掲げられ「自然環境管理体制の強化」「自然と

調和した景観づくり」「森林の保全」また「世界自然遺産を活用した経済領域の拡大、観光施設との連携」等があり、具体策として環境基本計画を策定するとあります。平成二十年度までに策定予定となっているが平成二十三年になっても未だに策定されていません。

私は環境基本計画が策定されて初めて、環境保全に対する町の姿勢も明らかとなり環境保全の指針となるものと考えます。

また子供達にも知床の自然を守る町の取り組みが認識される事と思います。環境基本計画は何時策定するのでしょうか。

町長

環境基本計画は今年度中に策定すべく進めている

今後自然環境教育を推進し、自然との共生を図る人材育成に取り組む。第六期総合計画の各項目

については、懸案事項の環境基本計画は今年度中に策定すべく作業を進めている。森林の保全についても市町村森林整備計画の策定が義務付けられ計画に基づき実施する。



熊岩付近の雪崩どめ

観光については、滞在型体験観光を進め「知床羅臼町体験学習推進協議会」を設立し修学旅行の受け入れ体制を構築する。

我が町の文化施設「知床草楽園」を再整備し復活を

高島 讓二 議員

知床草楽園は本町の名誉町民、故村田吾一氏が蒐集していた知床及び国後島の希少な植物の庭園であり、知床の植物園として後世へ引き継いでいくべき財産であり我が町の大切な文化的施設であると思います。

しかし、どのような管理がなされているのか庭園は荒廃しております。

私は、この希少な植物の庭園を復活と更なる充実させ教育、文化的また観光に活用するよう思いますが、どのように考えますか。

町長

「子育て支援施設」として活用する

平成十年から北方領土資料館として観光客にも開放してきたが、利用者の低迷平成十六年には財政改革の側面から閉館している。

現存する植物については専門的識者のご協力を仰ぎ集約管理し、子育て支援施設における情操教育等に役

立てたい。



知床草楽園

町政はあなたのために!!
議会を傍聴してみませんか。



- * 町議会の定例会は年4回(3・6・9・12月)開きます。
- * 町議会の臨時会は必要に応じて随時開きます。

9月定例議会において 指定管理者として議決した 社会医療法人 孝仁会を 表敬訪問 しました!



孝仁会星が浦病院会議室にて

去る九月十五日、第三回定例議会において、公の施設に係る指定管理者の指定について議決した、社会医療法人孝仁会へ、議員会として表敬訪問を致しました。

当日は議員会をはじめ町長、副町長、診療所事務長などとともに、孝仁会グループ、釧路星が浦病院を訪ねました。

孝仁会としては、齋藤孝次理事長をはじめ、高谷 了星が浦病院院長に対応を頂きました。

今回の定例議会において議決した内容や、地域住民の一員として、改めて指定管理者を受けて頂いた謝辞や、これまでの議会における経過や、今後の想定しうる課題などを話し合いました。

今後、様々な問題が出て来る事でしょう。しかし、お互いの理解や信頼などをより深め、より良い地域医療を目指していく事を切に願います。



右から高谷星が浦院長、齋藤理事長、山田経営企画部長

議会の動き

8月

- 12日 魚魂祭 副議長
- 19日 自衛隊転入隊員歓迎会 副議長
- 20日 札幌らうす会総会 議長
- 21日 第12回議長杯パークゴルフ大会 議長
- 31日 第1回知床ユネスコフォーラム歓迎交流会 議長
高橋北海道知事「まちかど対話」 議長

9月

- 1日 静岡県議会表敬訪問 議長
- 2日 議員懇談会
北海道議会議員 北方領土特別委員会調査団来町 議長
- 3日 理事者・管理職・議員パークゴルフ大会 正・副議長ほか
- 8日 議会運営委員会
- 9日 経済文教常任委員会
- 11日 羅臼町敬老会 正・副議長ほか
- 12日 総務民生常任委員会
- 13日 議会運営委員会
- 15日 第3回定例会
- 17日 第40回らうす漁火まつり開会式 議長
- 20日 社会医療法人「孝仁会」齋藤理事長表敬訪問 正・副議長ほか
- 26日 議会運営委員会
- 29日 町長杯ゲートボール大会

10月

- 1日 根室町村議会議長会主催議員研修会 正・副議長ほか
- 3日 社会医療法人 孝仁会「公の施設に係る指定管理者」調印式 議長
第1回決算特別委員会
- 5日 外務省ロシア課長来庁 懇談会 議長
議会だより編集特別委員会
- 9日 第21回クナシリ眺望駅伝競走大会 議長
- 11日 第2回決算特別委員会
- 12日 根室地方森林・林業・林産業活性化推進議員連盟協議会 正・副議長ほか
- 13日 全員協議会・議会だより編集特別委員会
- 17日 議会だより編集特別委員会
- 21日 第3回決算特別委員会
- 25日 第4回決算特別委員会

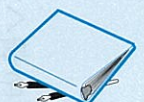
根室町村議会議長会主催 議員研修会

去る10月1日、標津町にて根室町村議会議長会主催による議員研修会が行われました。最初に自治功労者表彰式が行われ、村山修一議長と松原 臣副議長が表彰されました。

講演は、最初に、根室地区水産技術普及指導所主査の富安 俊氏に「サケと流通とブランドと…」として講演をいただき、その後根室地区水産技術普及指導所標津支所長小林雅行氏による「羅臼町・標津町・別海町に於ける栽培漁業の取り組み」と題して現在の状況や取り組みを伺いました。



編集を
終えて



イカの外来船が昨年と同じ様に来町して、イカ等の好漁を期待するとともに、当町の経済に活気を与える事と思います。

九月議会を終えて、決算特別委員会を設置して昨年度の決算を吟味して、次回の定例会に報告できる事と思えます。

だんだん寒くなってきましたので、ご自愛ご健勝をお祈り申し上げます。

田中 良